

第 22 回京都リーグ 追加措置について

この度はコロナ対策のため「コロナによる欠場」を認める措置を取りましたが、開催要項発表後（2021/9/13）の変更となり、参加者の皆様にはご迷惑をお掛けすることになりましたことをお詫びいたします。

今回の追加措置につきまして改めて詳細をご説明いたします。

1) コロナによる欠場について（追加措置）

コロナ下での大会開催となったため、個人戦同様、コロナによる欠場を認めました（「コロナによる欠場」と記載の上、申込書を提出して頂きました）。ただし、同一団体から複数チーム出場している場合に一貫性のない届出はコロナによる欠場とは認めていません。

また、レフェリーがコロナによる欠場を認めた場合、ペナルティーは課しません（次回残留）。なお、前回成績がブロック 5 位チーム（降格）については、今回降格の上、次回残留とします。

2) 欠場届の状況と次回取扱いについて

以下チームをコロナによる欠場と認め、次回残留扱いとします。

	前回（成績）	次回
（男子）パブリック宝ヶ池 A	: 1 部（3 位）	1 部
パブリック宝ヶ池 B	: 4 部（3 位）	4 部
RTC	: 1 部（5 位）	2 部
リベルタ轟	: 4 部（5 位）	5 部
（女子）パブリック宝ヶ池	: 1 部（2 位）	1 部

3) 今回の成績による昇格・降格チームの扱いについて

今回、コロナによる欠場を残留扱いとするため、公平性に配慮し、出場チームの降格は原則行いません。（今回に限り、従来の昇格・降格ルールを変更し、「昇格あり、降格なし」とします。）

注）次回の試合形式につきましては今後検討を重ねた上で決定いたします。

本大会は当協会唯一の団体戦としてチーム相互の親睦に重点をおき開催していますので、今回、このような措置を取らせて頂きました。参加チームにおかれましては、コロナ禍のもとメンバー集めに例年以上のご苦勞をされたと思いますが、ご理解とご協力をお願いいたします。